

## 教育実習に向けて

### 教育実習の意義目的について

大分県立大分舞鶴高等学校  
校長 小野 二 生



教育の役割とは、「いかに自立した人間をつくるかどうかにある」と思います。今、子どもたちを取り巻く環境は様々な課題を生じて

います。大人や子どもの規範意識はどこにあるのでしょうか？

こんな時代だからこそ教育の大切さが問われています。人を人として作りあげるのは教育しかないのです。

その教育を行う教員つまり、どんな先生が今必要なのでしょうか？

私は次の三つの条件を持つ教師が必要と思います。

第一の条件は「子どもが好きなことです」。何よりも子どもが好きで、子どもたちのために、何ができるかを常に考えられる人です。子どもが嫌いな人は教師にはむきません。子どもを理解することは大変なことだと思います。そのためには、学生の皆さんは今の内に「いろんな本を読んでください。」そして生徒にいろんな発問のできる知恵を身につけてください。

第二の条件は「精神的にタフなことです」。モンスターペアレンツといわれる親の問題や説明責任が問われる学校の在り方等、教師の仕事も昔とは違った対応が求められています。だからこそス

トレスを感じないようにすることが必要です。

最後の第三の条件は「常に情熱を持つことです」。生徒たちに「もっと勉強してみたい」という向上心をかき立てることが教える者のあこがれのベクトルです。「学ぶあこがれをかき立てることができる教師」はつねに学ぶ情熱を持っています。子どもから学ぶことはたくさんあります。自分が未熟であることを自覚し、その分精一杯準備し情熱を持って語りかけるときに、その未熟さがプラスとなって生徒に伝わります。そして、だまされても裏切られても子どもに寄り添う力を持つことや「だまされる勇気とだまされない知恵もちこと」が必要です。

教育実習は様々なことを体験できます。決してうまい授業をやらうと思わないでください。美味しくやらうと思ってやった授業はつまらない授業となることもある。下手でもいいから、生徒に理解できるように必死でやった授業の方が生徒には伝わります。難しい問題を易しく教えるための勉強が大事です。また、失敗を恐れず、チャレンジする勇気が必要です。失敗は人を大きくします。

そして教育は一人ではできません。曹洞宗の開祖である道元の「正法眼蔵」に「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」とあります。これは仲間がいて、その雰囲気知らず知らずのうちに染まって行くのだということです。多くの仲間と議論をし、勉強することが大事だと思います。

最後に、「DREAM CAN DO、REALITY CAN DO」というNASAの門に書いている言葉を贈ります。

「夢を思い描けば、必ず現実にできる」  
頑張りましょう。

## 求められる教師像

大分県教育庁高校教育課

課長 宮脇和仁



大分県が求める教師像は、次の3点です。

1つ目は、「使命感にあふれ、豊かな人間性をもつ人」、2つ目は、「専門的知識をもち、

実践的指導力のある人」、3つ目は、「柔軟性をそなえ、たくましく生きる人」です。

1つ目の「使命感にあふれ、豊かな人間性をもつ人」とは、子どもの成長を願って、強い責任感と思いやりの心を忘れない人のことです。子どもが好きで、子どもに対する愛情や教育者としての責任感が強く、子どもの指導に時間を惜しまず、努力を続けることが大切です。分け隔て無く全ての子どもたちを慈しむ温かい心を持ち、柔軟な発想や思考ができるようにありたいものです。

2つ目の「専門的知識をもち、実践的指導力のある人」とは、子どもの側に立って、いつも情熱にあふれ、よく分かる授業をする人のことです。物事を分かりやすく要約・説明できる表現力や説得力を持ち、どんな質問にも的確に答えを出せるように、学習しておかなければなりません。そのためには、子どもの授業前の理解度と授業後に到達させたい段階を把握し、その差をどのような方法で何段階で理解させていくのかを計画することが大切です。

3つ目の「柔軟性をそなえ、たくましく生きる人」とは、子どもたちの明日のために、協働し、

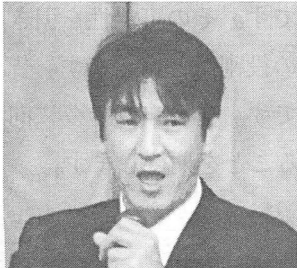
へこたれない心を持ち続ける人のことです。常に自己研鑽に努め、社会的常識や協調性を身に付け、コミュニケーションがとれることが求められます。一人の教師の力は小さくても、チームとして、組織としての力は大きくなります。

子どもの可能性は無限です。その可能性を引き出し、伸ばすことが教師の役割だといえます。皆さん自身の可能性も無限です。自分自身の夢に向かって、邁進していかれることを期待します。



## 教師という「職人」を目指すみなさんへ

別府市教育委員会学校教育課  
指導主事 北村 俊雄



私は、これまでの教員生活の中で、たくさんの「生徒に人気がある先生」に出会ってきました。体育大会などの行事に全力投球する若

手教師、部活動に燃える熱血教師、ユーモアに富み話がうまい先生など、そのタイプはさまざまです。その中で、子どもと年齢が離れている上に、厳しくて少し近寄りたいたい所がありながらも、誰よりも子どもたちの信頼を集め、人気もある先輩教師たちがいました。そのような先輩方の共通点は、子どもたちを見取る優れた目を持っていることでした。

教師は、子どもを「見取る」という言葉をよく使います。子どもたちと接する中で、目で耳で肌で子どもを理解することです。前述の先輩方は、常に子どもたちの願いや困りを敏感に捉え、ここぞという時に隠れた努力をたたえたり、励ましの一言をかけたり、さりげなく支援したりという一手を打つことができます。子どもたちが信頼を寄せるのも当然です。

授業づくりにおいても同じことがいえます。授業のうまい教師は、共通して子ども理解の力をもっています。授業を構想する前には、必ず、教材に対する興味関心の程度や、既習内容の定着度、学級集団の性質を把握しています。その上で、どのような課題ならば生徒が引き受けやすいのか、どこでつまづきやすいのかを探りながら授業を構想します。また、授業をすすめるにあたっては、子どもたちの意欲の高まり、課題を引き受けたか、

どんな疑問や考えを持ったのか、グループ学習に入れない子どもはいないか、本時の内容の理解は深まったかなどを的確に見取りながら、柔軟に授業展開を修正していきます。

そして、授業が終わったときの子どもたちの表情をしっかりと見取りたいものです。子どもたちは素直ですから、1時間の授業に価値があったかどうかはすぐに表情に表れます。子どもたちは、教師の努力に素直に応えてくれる一方で、教師は毎時間、子どもたちによる厳しい評価を受けているといえます。

「教育は子ども理解に始まり、子ども理解に終わる」といわれる程、授業や学級経営などのすべてにおいて基本となるのが子ども理解です。しかし、子どもたちは皆個性的であり、日々成長している子どもたちの理解は一筋縄ではいきません。経験を積んだ教師にとっても永遠のテーマです。その力を高めるためには、経験を積むしか方法はないのです。

講義の中で紹介した映画監督黒澤明氏のことを覚えているでしょうか。

「現場での具体的な仕事を繰り返して身に付いたことが僕たちの宝だ、だから僕は芸術家と呼ばれるより職人と呼ばれたい」

私は、教師は職人であると思います。また、私自身、できれば一流の職人になりたいと思っています。

教育実習に臨む皆さんは、いよいよ教師という職人への第一歩を踏み出します。座学では身につけられない子ども理解の難しさ、奥深さ、そして大切さを実感できる教育実習であってほしいと思います。

## 教育実習の実際

明豊高等学校

元教頭 山添博司



### 1. 教育実習についての オリエンテーション

実習校が決定したら、できれば前もって訪問し、担当の教師に学校の内容などを聞いたり、校内を案内してもらうことは、実習をするうえで大切なことだと思います。

オリエンテーションでは、まず教育実習の心得が説明されます。その内容は次の4点です。①実習校の教育の概要について理解する。②教育実習の目標・内容を理解する。③教育者であると同時に被教育者としての自覚を持つ。④実習校の勤務条件を理解し勤務するという自覚を持つ。実習が始まったその日から皆さんは教師だという自覚を十分持ってください。

次に実習計画、日課時刻と授業時間、担当クラスと指導教師、施設・教室配置、実習初日の日程などについて説明されます。疑問点がありましたら質問して確認をするようにして下さい。また、オリエンテーション当日に持参する書類を忘れないようにして下さい。

### 2. 教育実習の内容

(イ) 導入課程…実習の前半はいろいろな教育活動についてしっかりと観察・参加してほしい。授業では自分の教科だけではなく、他の教科の授業も積極的に指導教師を通してお願いして見せてもらい、指導内容、板書、質問内容、生徒の活動など、常に教壇に立つときを考え、参考にするようにして下さい。

い。また、ホームルームや部活では生徒との信頼関係をしっかりと築くことが大切です。  
(ロ) …実習の後半はいよいよ実際に教壇に立って授業を行います。指導案を作成し、教材研究を十分にすることは勿論ですが、いかに生徒が集中し理解し達成感をもつ授業、すなわち、生徒主体の授業ができるかが大事ではないかと思います。そのために導入段階などでの工夫が必要です。「先生楽しく、よく分かる授業だったよ」。これが本当にすばらしい授業ではないでしょうか。また、この期間、他の実習生の授業もできるだけ多く見学してください。

授業での間違いは、早急に誠実に訂正することです。人間だれでも間違いはあります。そのままにしないようにして下さい。

(ハ) 整理反省過程…実習生は、公開授業すなわち研究授業を行います。指導教師、大学の教員、教科の教師、他の実習生など多くの人達に、授業を見てもらいます。皆さんは生徒にしっかりと目を向けた授業をして下さい。その後、反省会があります。いろいろな意見が出るとは思いますが、一つ一つ真摯に受け止め、今後に生かして下さい。

以上、明豊中学・高等学校の教育実習に関する資料を中心に述べました。

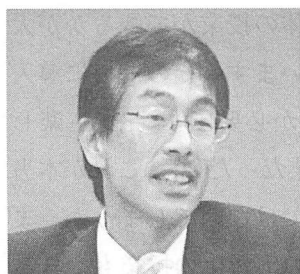
### 3. その他

当然なことです。欠勤、遅刻、早退、外出などは、必ず連絡を取って下さい。そして生徒にとって、実習生は「先生」です。先生の一つ一つの言動は大きな影響を与えます。教育者としての自覚を持って下さい。

教師は大変な仕事です。しかし、生徒の笑顔、輝く目を見るとき、苦勞も解消して行きます。

皆さんが教壇に立ち、生徒に囲まれる日を心より願っています。

## 私にとっての「教師」という仕事

別府市教育委員会学校教育課  
指導主事 末光 淳 二

先日、久しぶりに学生さんを前に講義をしました。とても緊張しましたが、これから人生が始まる皆さん方の輝いた目や活気溢れる

表情に触れ、私の方が活力を頂いたような次第です。皆さん方、またこのような機会を与えてくださいました先生方に、心から感謝しております。

さて、講義の中で「生徒指導と学習指導は同じ」と述べました。いずれの指導においても、教師は「この子どもをこのような考え方ができるようにしたい」等目的を定め、その目的を達成するためにより効果的な方法を考え、講じるからです。また、その方法を考える際の留意点も述べました。教師が軸とするものは「子ども」であって「方法」ではない、つまり、ひとつの方法がうまくいかなかった場合に子どものせいにするのではなく、「他に方法がないのか」と考えることが大切ということでした。

このような視点から教師の仕事を捉えた時、教師の仕事は医師の仕事と似ている部分があるように思えます。医師はまず患者を熟知し、その患者に合うであろう治療を施します。そしてもしその効果が薄いと判断した時は治療法の改善に手をつけます。このサイクルが似ているという理由です。ただ、医師の尊敬すべきところは、そのほとんどが決して「私の治療で効果が出ないのは患者が悪いからだ」と言わないところです。これは是非見習いたいところです。

せっかく医師の仕事を引き合いに出したので、

他にも似ていると感じるところを話しましょう。医師はもし自分が失敗をすれば患者を命の危険に晒してしまいます。教師はそこまでの恐ろしさはないように思うでしょう。でも、本当にそうでしょうか。教師という仕事は「あの時担任の先生が気づいてくれなかったから、僕はあれ以来学校には行けなくなってしまった」「あの先生が数学を教えるようになってから私は数学が嫌になってしまった」というような傷を、場合によっては一生背負わせてしまう可能性のある仕事です。「教師の場合、相手は生きているではないか」と思いますか。私には命のあるなしの問題とは思えないのです。

この他にもあります。教師という仕事をしていると、子どもから「先生、ありがとう」と言われることがあります。その「ありがとう」が、命を救ってもらった患者が医師に対して述べるものと比べ、遜色ない場合もあります。様々な「ありがとう」があります。いつまでもそう思い続けてもらえる「ありがとう」もあるのです。私がこれまで教師という仕事に対して前向きにいられるのは、この「ありがとう」をもらった喜びが忘れられないからなのかもしれません。

